

| | | | |
|------------|---|---------------------------|-----------------------|
| コ | ス | 人体の組織 (General Histology) | |
| 学年・期・単位 | 第2学年・前期・1単位 | 科目担当責任者 | 高橋 理 (人体構造学講座 組織学・教授) |
| オフィスアワー | 木曜日17:00～18:00 (第1研究棟5階・教授室) | メールアドレス | otakaha@kdcnet.ac.jp |
| 一般目標 (GIO) | 人体を構成する細胞、組織、器官、系統、個体の概念を知り、基本的な組織の要素4種類について習得する。あわせて人体の恒常性を調節するための形態学的要素である循環器系、感覚器系、神経系についても理解する。 | | |

| 講義ユニット | 一般目標 (GIO) |
|---------------|--|
| 1. 序論、組織学の研究法 | 医学・歯学における組織学の概念を知り、組織学の研究法について人体を細胞レベルより理解する。 |
| 2. 上皮組織 | 人体を構成する組織の概念、すなわち四大組織の分類を知り、その上でヒトの上皮組織について細胞レベルより理解する。 |
| 3. 支持組織 | 人体を構成する組織の概念を知り、その上でヒトの支持組織について細胞レベルより理解する。 |
| 4. 筋組織 | 人体を構成する組織の概念を知り、その上でヒトの筋組織について細胞レベルより理解する。 |
| 5. 神経組織 | 人体を構成する組織の概念を知り、その上でヒトの神経組織について細胞レベルより理解する。 |
| 6. 内分泌系 | 人体を構成する内分泌系の概念を知り、その上でヒトの各内分泌器官について細胞レベルより理解する。 |
| 7. 感覚器系 | 人体を構成する感覚器系の概念を知り、その上でヒトの視覚器、聴覚器、味覚器、嗅覚器について細胞レベルより理解する。 |
| 8. 神経系 | 人体を構成する神経系の概念を知り、その上でヒトの中枢神経系、末梢神経系および髄膜について細胞レベルより理解する。 |

| 教科書 | | |
|---------------|-----------|------|
| 書名 | 著者名等 | 発行所 |
| A 標準組織学総論 第4版 | 藤田恒夫、藤田尚男 | 医学書院 |
| B 標準組織学各論 第4版 | 藤田恒夫、藤田尚男 | 医学書院 |

| 参考書 | | |
|--|-------------------|----------------|
| 書名 | 著者名等 | 発行所 |
| 図説組織学 | 溝口史郎 | 金原出版 |
| Bloom and Fawcett, A Textbook of Histology | Fawcett | Chapman & Hall |
| 神経解剖学 | 水野 昇、岩堀修明、小西 昭 共訳 | 南江堂 |
| 図説中枢神経系 | 水野 昇、岩堀修明、中村泰尚 共訳 | 医学書院 |

| 評価法 (EV) |
|---------------------------------------|
| 本試験 (100%)、および出席状況と受講態度 (減点) による総合評価。 |

| 授業計画 | | | | | | |
|------|------|---|---|---|-------|--|
| 回 | 日付 | ユニット | 行動目標 (SBOs) | 学習方略 (LS) | 授業担当者 | コアカリ/国試出題基準 |
| 1 | 4/5 | 学 序 論 の 研 究 法 組 織 | 医学・歯学における組織学の概念と研究法を説明できる。 | A P1~23、94~96の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-1-3) 必6-A-c, d 総(Ⅲ)-1-A, B, C, |
| 2 | 4/12 | 上 皮 組 織 | 上皮組織の分類と、上皮細胞間の特殊分化について説明できる。 | A P97~105の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3)-(1) 必6-A-c 総(Ⅲ)-1-F |
| 3 | 4/19 | | 上皮組織の分類と、上皮細胞間の特殊分化について説明できる。 | A P97~105の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3)-(1) 必6-A-c 総(Ⅲ)-1-F |
| 4 | 4/26 | 支 持 組 織 | 支持組織の概念と結合組織について説明できる。 | A P122~155の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3)-(3) 必6-A-c, e 総(Ⅲ)-1-G |
| 5 | 5/10 | | 軟骨組織と骨組織について概念とその組織構造を説明できる。 | A P156~181の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3)-(4)~(7) 必6-A-e 総(Ⅲ)-1-G |
| 6 | 5/17 | | 血液について概念とその成分を説明できる。 | A P210~234の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3)-(11) 総(Ⅲ)-2-I |
| 7 | 5/24 | 筋 組 織 | 筋組織の分類と平滑筋、骨格筋および心筋について、その概念と組織構造を説明できる。 | A P206~243の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3)-(8) 必6-A-c 総(Ⅲ)-1-F |
| 8 | 5/31 | 神 経 組 織 | 神経細胞と神経膠細胞について、その概念と組織構造を説明できる。 | A P244~288の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-c 総(Ⅲ)-1-G |
| 9 | 6/7 | 内 分 泌 系 | 内分泌系の分類と特性、概念、ホルモンの作用そして下垂体の組織構造について説明できる。 | B P303~320の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-c 総(Ⅲ)-2-H |
| 10 | 6/14 | | 松果体、甲状腺、上皮小体、膵島、副腎、消化管内分泌、パラガングリオンについて、その概念と組織構造について説明する。 | B P321~377の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-f 総(Ⅲ)-2-H |
| 11 | 6/21 | 感 覚 器 系 | 皮膚の構造と機能、視覚器について、その概念と組織構造について説明できる。 | B P378~446の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-f 総(Ⅲ)-2-G |
| 12 | 6/28 | | 平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器の概念と組織構造について説明できる。 | B P447~491の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-f 総(Ⅲ)-2-G |
| 13 | 7/5 | | 平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器の概念と組織構造について説明できる。 | B P447~491の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-f 総(Ⅲ)-2-G |
| 14 | 7/12 | 神 経 系 | 中枢神経系の分類、概念と組織構造について説明できる。 | B P492~524の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-f 総(Ⅲ)-2-F |
| 15 | 7/19 | | 末梢神経系、髄膜、脳室、脈絡叢について、その概念と組織構造について説明できる。 | B P525~546の主要部分と配付資料を解説する。主に要点を板書とスライドにより解説する。 | 高橋 理 | D-2-3) 必6-A-f 総(Ⅲ)-2-F |